

2022.8.4

## お知らせ & お願い：8/20 第 36 回働学研（博論・本づくり）研究会

十名 直喜

8月に入り酷暑が続いていますが、如何お過ごしでしょうか。

お盆明けの8/20に第36回働学研を開催します。6本の発表が昨朝、揃ったところです。

早速、3本ずつの2部編成に仕立てました。月例会で、毎月数本の発表は実に至難の業。毎回、自転車操業です。不思議なことにギリギリで形になるのですね。

おかげさまで、今回もインパクトのあるプログラムができたと感じています。

第1部 生産力・技能教育・高齢者教育への視座（司会：太田）

第2部 偏見・差別・放置から社会的支援・連帯への道（司会：濱）

### 8/20 第 36 回働学研プログラム

（司会：太田・濱・十名、画面：澤 & 発表・議論各15分：計30分/本）

#### 第1部 生産力・技能教育・高齢者教育への視座（司会：太田）

平松民平：「書評 聴涛弘[2022]『（論争）地球限界時代とマルクス「生産力」概念』」  
かもがわ出版

片山勝己：「欧米における技能教育の特徴と歴史的変遷 ー日本との比較視点」

富澤公子：「高齢者におけるプログラミング教育の現状と展望」

#### 第2部 偏見・差別・放置から社会的支援・連帯への道（司会：濱）

伊藤泰子：「「聞こえない人」から「手話者」への発達と社会的支援課題  
ー社会的偏見と差別を超えて」

程 遠紅：博論の全体像（目次・要旨）「中国における都市生活ごみの現況と課題  
ー法治・管理・教育の三位一体による持続可能な循環地域づくり」

小林伸孝：「書評 藤井編『地域でのつながりつくり直す 社会的連帯経済』彩流社」

皆様のご参加、お待ちしております。ご参加の方は、十名 (tona@iris.eonet.ne.jp) までお知らせください。

発表者に、お願いがあります。発表資料を、8月14日までに十名宛にお送りください。

どうかよろしくお願ひします。くれぐれもお大事に。

## 9/11 第 37 回働学研のお知らせ

なお、9/11（日）の第 37 回働学研は、文化政策・まちづくり大学校&国際文化政策研究教育学会の研究大会（9/10-11）の一環として開催されます。

日曜開催となりますが、特例で今回に限りますので、お許しください。

横田幸子著に続き、濱真理著の出版も近づいています。熊坂敏彦著の出版も近く予定されています。社会人研究者による初の単著書出版が相次ぎ、（本つくり）研究会としても実を成しつつあります。

汗と涙の結晶、ライフワーク出版のもつ意義は何か。学びあい育ちあう研究者として、社会人、大学人が一緒になって考え、深める機会に出来ればと思います。

9月11日 午後 13:30~17:00

ライフワーク出版記念書評会&シンポジウム（司会：太田、十名、画面：澤）

### 第 1 部 ライフワーク出版 3 冊の書評&リプライ（13:30~15:30 司会：太田）

横田幸子[2022]『人類進化の傷跡とジェンダーバイアス

— 家族の歴史的変容と未来への視座』社会評論社

濱 真理[2022]『市民と行政の協働

— ごみ紛争から考える地域創造への視座』社会評論社

熊坂敏彦[2022]『循環型地場産業の創造

— 持続可能な地域・産業づくりに向けて』社会評論社

（7-9月に、3冊の単著書が数十年の思いと研鑽を込めて、相次ぎ出版される。そこに光をあてたい。[各本の書評者・コメンテーターを募集中](#)）

### 第 2 部 ライフワーク出版記念シンポジウム（15:30~17:00 司会：十名）

十名直喜：「社会人のライフワーク出版同期化の歴史的意義と協働の未来に向けて」

その他

（ライフワーク出版の著者、書評者、コメンテーターそして参加者が一堂に会し、思いと体験を語り合う。珠玉のノウハウや教訓を浮かび上がらせたい。[参画者を募集中](#)）

著者、書評者、コメンテーター&参加者 [コメンテーター募集中](#)